

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

A161

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-89672

⑪ Int. Cl.⁴
G 03 G 21/00
// G 03 G 15/08

識別記号
1 1 3
1 1 2

庁内整理番号
7204-2H
7015-2H

⑬ 公開 昭和62年(1987)6月8日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑭ 考案の名称 画像形成装置

⑮ 実 願 昭60-182389

⑯ 出 願 昭60(1985)11月26日

⑰ 考 案 者 小 林 健 司 東大和市桜が丘2丁目229番地 カシオ電子工業株式会社 内

⑱ 出 願 人 カシオ計算機株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

⑲ 出 願 人 カシオ電子工業株式会社 東大和市桜が丘2丁目229番地

⑳ 代 理 人 弁理士 大 菅 義之

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 排トナー容器の収納部に該排トナー容器に係合する係止部材を有し、トナー補給に同期して前記排トナー容器を交換する画像形成装置において、固定仕切りと排トナー容器とにより内部に補給トナーを収容する第1の室を形成するとともに該第1の室の前記固定仕切り側に前記排トナー容器を嵌入し得る第2の室を有する筒体を別体として備えたことを特徴とする画像形成装置。

(2) 前記筒体と前記排トナー容器とが着脱可能な螺着手段と、前記係止部材に係合し、前記排トナー容器の外側一端に形成された係合部とを設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の画像形成装置。

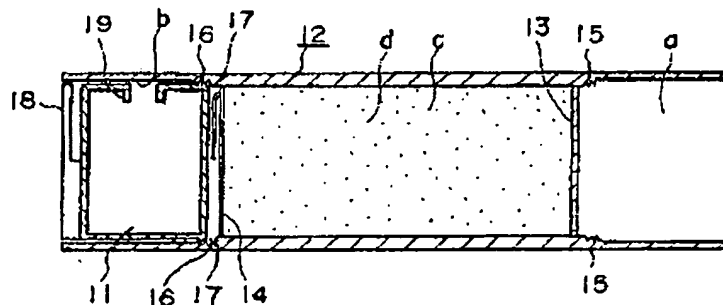
図面の簡単な説明

第1図は、本考案のトナー補給カートリッジの

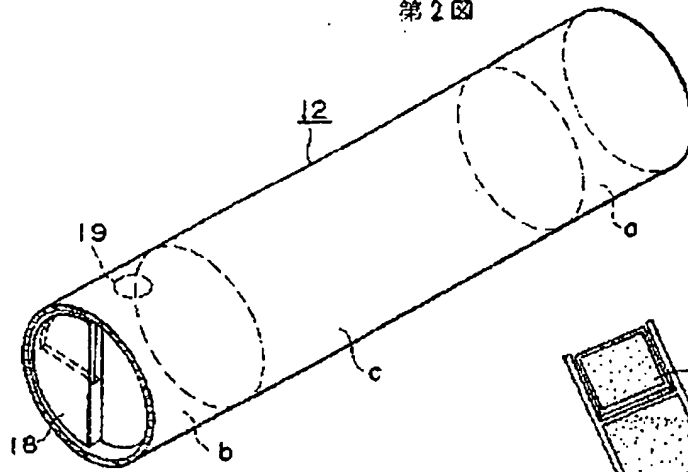
断面図、第2図は、その斜視図、第3図は、トナー補給状態を示す説明図、第4図は、排トナー容器の斜視図、第5図は、排トナー容器の中央断面図、第6図は、トナー容器の装着状態を示す説明図、第7図は、トナー容器の装着状態を示す断面図、第8図は、画像形成装置の要部概略構成図である。

1……感光体ドラム、2……帯電器、3……露光装置、4……搅拌ロール、5……現像ロール、6……現像器、7……転写器、8……クリーナ、9……フアーブラシ、10……回収ロール、11……排トナー容器、12……トナー補給カートリッジ、13、14……仕切板、15、16……雌螺子、17……雄螺子、18、20……ストッパ、19……トナー受口、21……導管、22……パネ、23……レバー。

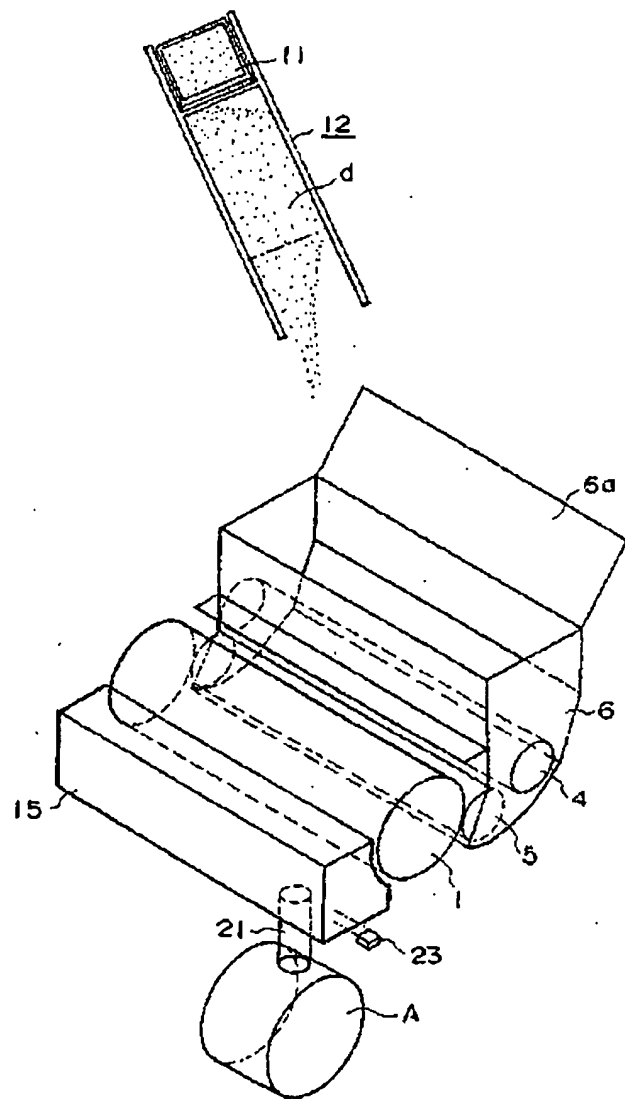
第1図



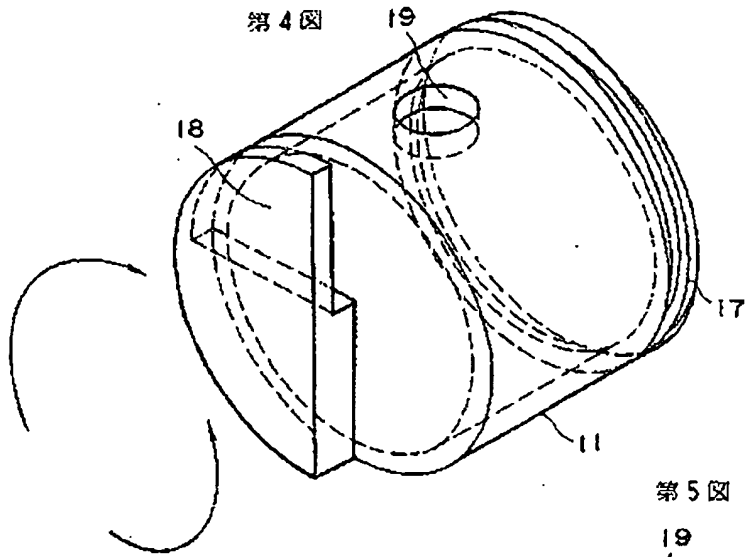
第 2 図



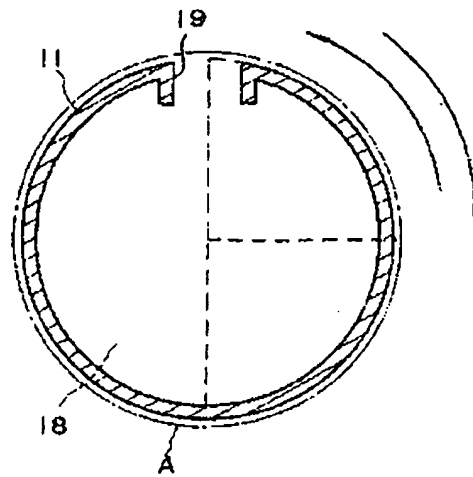
第 3 図



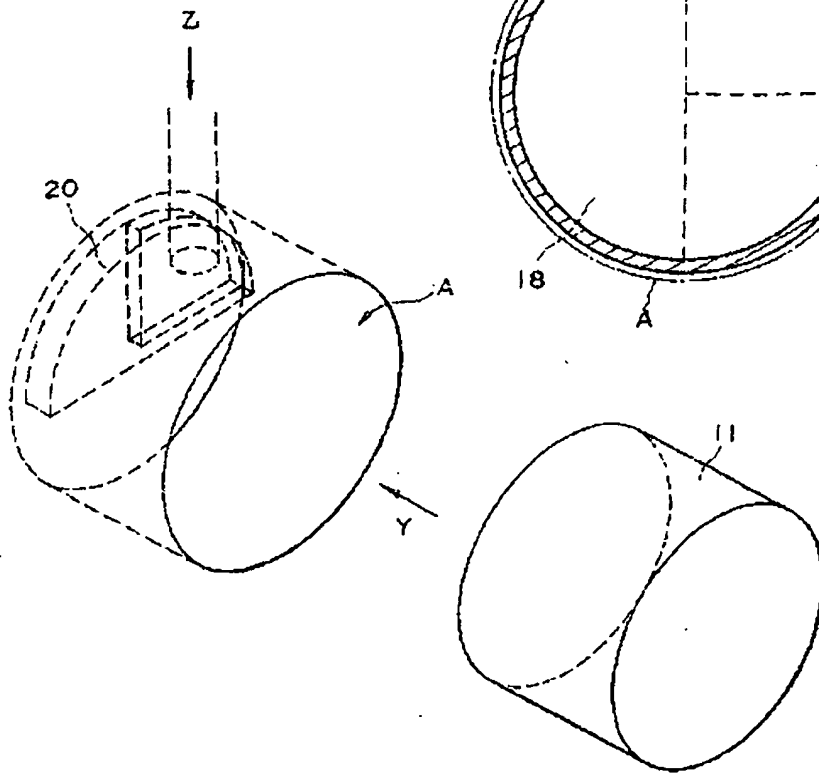
第 4 図



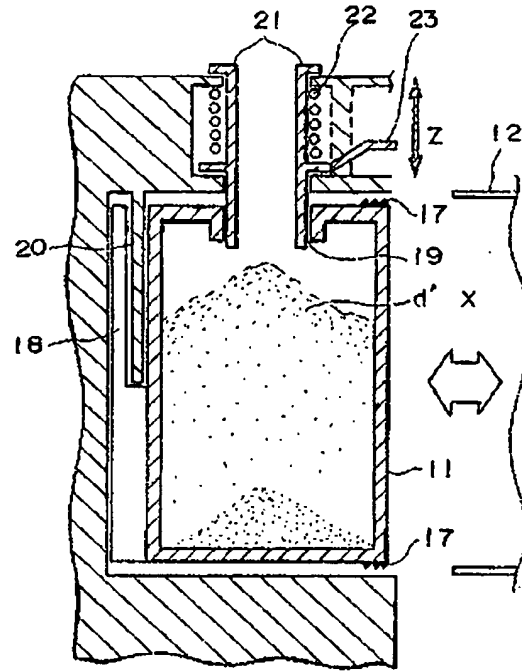
第 5 図



第 6 図



第7図



第8図

